新京日日新聞
夕刊
一月十三日（土）
定價 一部金三錢 一ヶ月金八十錢
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河 忠 編輯人 松本 印刷人 谷

滿鐵改組問題の檢討（二）
特務部案は對滿投資に妥當なり

岡本理治

經濟參謀部さホールディング、コンパニーさの關係を日本の經濟現實に即して例證すれば大藏省さ日本銀行の關係が良き暗示をなすものである。日本金融の原動的統轄的方面は大藏省が之に當る。通貨の本位制の決定、金の輸出禁止又は解禁保證準備又は比例準備の率等並に紙幣の伸縮性、金融の統制力の監督等は大藏省の支配に屬し、金融の自然的又は自動的方面の總滙となり日本金融の日常流通過程の支柱となることは、日本銀行の責務である。經濟參謀部は大藏省に當り、日本銀行はホールディング、コンパニーに當る。日本銀行さホールディング、コンパニーさの相異は、前者が商業金融の總滙たるに反し、後者が企業金融の中軸であるからである。此點を諦觀して深く瞑想すべきである

×

先日滿鐵株が下落し、滿鐵社債の賣行き思しからしさの東電を入れた。之には種々の原因があるらしきが、特務部案を正解し得ざるに起因するのが重要なる原因なりさ一般に信ぜられてゐる。特務部案なるものは果して滿洲投資に妥當せざるものなりや、私は不可思議に想ふのである。特務部案は對滿投資に最も妥當なるものであるさ信ずる。何を以て然るか。蓋し特務部案は投資に保險を付したるさ同じきが故である。此頃米國に於て金融關係立法の一顯さして預金者の利益を保護せよさ謂ふ考へがある。銀行が不健實にして預金者を苦むるのは米國のみでなく、日本にても滿洲にても常に經驗する所である。預金は眠れる投資さ謂つてもよろしい。殊に日本や滿洲にては如何なる預金にも利子を付する以上其然るを見る。況んや眠らざる即ち投資者の自覺に基く證券投資に於ては尚ほ更の事保險の必要を感ぜしむるものである。而して此保險付投資の一型さして、インベストメント、トラスト（投資信託）が存在する。インベストメント、トラストは千八百六十年頃英國に於てエンソル其他の證券によりて得らるべき收益率が非常に低下し、中小の資産家が利殖の途を失へる際、丁度米國に鐵道の建設其他資金を要する各種の事業起り資金を求むるに急なりし者を以て、米國の經濟事情に通曉せる確實なる實務家をトラスティ即ち受託者さし、中小資産家が之に資金を信託し、受託者は米國の經濟事情を精査し、利益の多き多少危險性あるもの並に確實にして利益少きもの等の多種類の證券に資金を分配して投資し、割合に高率の利益を擧ぐるさ共に危險の分散によりて保險の性質を含ましめ以て、良好の成績を擧げ其目的を達するを得た

×

今回特務部案により日本よりの投資は一旦ホールディング、コンパニーに投入せしめホールディング、コンパニーは合同運用さして滿鐵分解による各特殊會社に投資することさすれば多數の證券に危險を分散するを得インベストメントトラストさ同一の保險的機能さ合理的高率利益を獲得せしむるを得る玆に於て米國にて唱導されつつある預金に保險を付するさ同一の結果さなる

滿洲國金融の概況（四）

關東軍特務部 小池寛

此點から考へ事變直後早くも滿洲國幣制を日本さ同一さなす根本方針を定め、暫定措置さして現在の如き制度を採用し、混亂せる通貨の統一を計ることさしたのは誠に當を得たものである

三、現在の滿洲國金融

滿洲國は舊政權崩壞の當初から此混亂せる金融機構を制しなければならぬさ云ふ理想さ決心さを持つて居た、事變勃發して東北軍が四散するや關東軍は先づ迅速に金融機關の接收をやつたことは已にリツトン報告にもある如く實に間髮を容るゝ暇もなく官銀號銀行へ專門家を入れて金庫を押へ、帳簿を檢べ、行員を安堵せしめて同時たりさも新機構に入り得る際に備へたのである

此ことは奉天を攻略したり錦州に攻め入つたり又は熱河占山を射つたり蘇炳文を追つたりした樣な華々しき武功に比べては世の興味を惹いて居ない樣であるが此金融機關に對して迅速に處置したと云ふことが滿洲の建國を、スラスラさやらせ財政を確立せしめ、貨幣價値を維持して民生を安からしめ、政治各般の施設をたる基礎をなして居るのであつて沒却し得ざる大功である

右の樣に先づ金融機關を抑へて其內容の調査に着手すると同時に新金融機構の研究を進めたのであるが當時研究の結果は全滿に一中央銀行を設けて發行券を統一し舊官銀號四行はこれを新銀行に併合することゝし、其發行券は新銀行券さの當時の比價により法律を以て交換割合を定めて二ケ年の期間內に交換せしめることとした、又新銀行の發行券は將來は日本の本位さ同樣金本位さす可きも當時は事變直後混沌たる際に於て之を斷行する時は或は人心を不安に導く虞なきにしもあらずさ考へ大体現大洋を基準とする銀本位の紙幣を發行することとし現大洋の銀の純分は二三・九一グラムであるから之を一圓さ定むれば舊官銀號の紙幣さの比價も容易に算出々來又當時の國民の經濟上の單位にも大きな變動を與へないで且つ支那さ同一基準にあるを以て貨幣相場の變動も容易に見ることが出來る等の理由から暫行辦法さして銀を基準さする最低三割の金銀の正貨準備を必要さする管理紙幣を發行することゝなつたのである

而して金融機關さしては新京に滿洲中央銀行を設け上述の如く銀行の資産負債を全部之に引繼ぎ此外日本から政府金二千萬圓を借入れて銀行の資金さなし資本金三千萬圓（四分の一拂込）の株式會社で株式は全部政府所有さ云ふ變形的國營銀行たる中央銀行が成立昨年七月一日華々しく開業したのである

新銀行開業は早くも五月には出來ることゝなつて居たが念には念を入れ尚詳細なる檢討をなして七月一日に開業したのであるが準備に相當苦心してやつた爲めか開業早々から新金融狀況は健實の一途を辿り國幣（滿洲中央銀行紙幣）の價値も創立當時は日本金圓七十圓に對し百圓であり三月の建國迄に大体整へしめ方日本金圓より下値にあつたのが其年の九月十月さ漸次上騰して年末には二、三圓の値鞘さなり今年に入つては大体一致して殆ち日本金圓百圓さ國幣百圓さが同値さなつた、之は滿洲では未曾有のことで人民は始めて安定した貨幣を持ち得、財政及國民經濟の基礎たる重大要件が出來たのである、九月頃からは國幣が日本金圓より上騰になつて五、六圓高い樣である、その原因に二つの見方がある一つは銀が高いから國幣が高いさ見る見方であり一つは發行額が小さく引き締められてゐるさ云ふ見方である

滿洲國は躍進する（六）

外交部宣化司長 川崎寅雄

商業の助長

（一）一般商業に對しては努めて之を助長獎勵し取引の圓滑を期し國內產業の販路を廣く世界に求め以て商賣の繁榮を計らんさす、之が爲め商民の特徵は益々之を助長せしめ舊慣の改む可きは之を矯正し以て取引の合理化を期す、又生活必需品其の他國民生活に重要なる關係を有する商品につきては適切なる供給さ價格の調節さをなす

（二）新に特許法商標法等を發布し工業所有權の保護を計り寄託保險等に關する法制を定め度量衡の制度を統一し其の他取引所の制度を改善する等商取引に關する文明的施設をなさんさす

（三）關稅政策は貿易の振興を目さし國際取引の增進を期す

私經濟の改善

政府は單に民に禍する舊東北軍閥の稅政を排するに止らず積極的に各種の政策及施設を實行し經世救民以て惠澤を一般民家に及ぼし其の私經濟を改善し民力培養に努む、されご徒らに遊民徒食の弊の存在を許さず自然隣保扶助の美風を作興普及す、之が爲め左の如き方策を講ず

（一）凡有方法を講じ國民大衆の生命及財產の安固を期す

（二）官民協力し適宜の施設を行ひ恒に飢饉其の他天災に備へ野に餓なからしむるを期す

（三）稅制を整理し負擔の均衡及輕減を計り民力の伸張を期す

（四）國民大衆に對し生活必需品の低廉なる供給を計る

（五）各種產業組合及金融組合の健全なる發達を圖り相互扶助の實を擧ぐるに努む

（六）一般失業者に對して生業を與ふるの道を講ず

四、滿洲國經濟建設の現狀

一、交通

（一）鐵道網の完備 大同二年二月京圖線は既に通じ北鮮裏日本さ交通上の一新紀元を畫することになつた次に拉賓線又近く開通すべく竣工の曉には京圖線さ哈爾賓方面さの連絡非常に便利さなり同地方物貨搬出上並文化開發上重大性を有するものさ目せらる

（二）道路建設 各方面道路建設は計劃通り着々進捗しつつあるが同時に國都建設工事も亦著るしく進捗し市街全く面目を一新した

（三）水運の發展並港灣の修築 ウスリー江は今や滿洲國側汽船砲艦等航行に便し北鮮の羅津、雄基、清津等又京圖線開通に伴ひ築港せられ北滿中原の吐呑港たらんさして居る

（四）航空路の發達 滿洲航空會社の經營にかかる定期航空路の開拓は最近非常な發展振りを示して居る

（五）通信網の擴充 滿洲電信電話統一の目的を以て今年九月一日から開業された滿洲電信電話會社は日滿合辦で滿洲國防の充實、產業の開發、文化向上に對し大なる使命を有して居る

日滿經濟ブロツク結成上必然的に左の如きコンチエルンが建設され又は建設されんさして居る

イ昭和製鋼所 ロ滿洲化學工業會社 ハ滿洲鑛鑛會社 ニ滿洲採金會社 ホ日滿マグネシユーム會社 ヘアルミニユーム會社 ト滿洲興業銀行 チ滿洲棉花會社 リ滿洲森林開發會社 ヌ度量衡器製造會社 ル滿洲製粉會社 ヲ滿洲セメント會社 ワバス會社 カ硫安製造會社 ヨ曹達製造會社 タ滿洲電氣會社 レ奉天造兵所 ソ自動車工業會社等々

日滿悲曲 生命線を行く（六十四）

（禁上演上映）

國友雄吉 （荒川芳三郎畫）

幽鬼のすがた

伸一が、海拉爾の兵舍に拘禁されて以來、早くも二ケ月餘の日數は流れて、滿洲は雪の十二月に入つた。

その間、滿洲里に於ては、十月二十八日、すなはち在留日本人が領事館に籠城してから、ちようど一ケ月の後、山崎領事や、わが交渉委員長小松原道太郎大佐等の、必死の交渉が功を奏して、婦人と小兒だけは、露領引揚げを許可するといふ通知があつた。領事館にその快報の達したのは、その日の午前十時であつた。

婦人と小兒だけと云ふのだから、父、良人、兄、それらの人々を、滿洲里に殘して行かねばならない、それだけは心殘りであつたが、しかし一同は、一ト月ぶりに初めて微笑を面に浮べ、心は、歡喜に躍り上つたのである。

そして、その婦人、小兒の一行は、二十九日、父や良人に血の告別をして、午後九時、滿洲里停車場から嚴重なる支那兵の警戒の下に、滿洲里を出發した。ロシア領事スミヨノフ氏、白石居留民會長、福間領事館書記生、などの人々に見送られ、いよいよ露領に向つて出發した。

車窓から見返る滿洲里の市街。記憶が漂ふて、今更の如く、戰慄を覺えさせられる。

そして遙かに見ゆる日本領事館。或ひは支那監獄の建築。そこには良人や父が、前途まつ暗な運命の鐵鎖につながれてゐるかと思ふと到底涙なしにはゐられなかつた。

それから汽車は、雪の曠野を進ること五時間。三十日の朝は、露領のマチエフスカヤに到着した。愛でまた、二十一日間といふ長い停車をさせられて、十一月二十日漸く同地出發。シベリア鐵道を東へ東へと進んだ。

そして愈々、浦潮も近くなつて、かすかに日本海の光りが見えたとき、

「あゝ國境だ！」と一同は、思はず抱き合つて、懷しさと、嬉しさの叫びに、袖をぬらしたのであつた。

しかしながら、無論此の一行に加はることの出來なかつた伸一の妻市子と、その子茂彥とは、何れにも、その喜びを倶にすることはできなかつた。

噫、生か、死か。あれ以來、杳として消息の知れないこの二人を包む、宿命の謎の扉は、果していつ、開かれることであらう？。

それはさておき、婦人、小兒の一行は、浦潮から汽船大阜丸で無事日本へ歸つたといふ知らせが、滿洲里の領事館へ達したのが、十一月の二十日であつたが、その翌二十一日に、殘つた非戰鬪員の男子四十名も、亦引揚げを許可された。

そして、十二月九日、一行は、なつかしの祖國日本の土を踏んだのであつた。

しかし、後にはまだ、山崎領事や、國境警察隊員、其他多勢の人々が、抑留され留まつてゐた。

かくて滿洲里在留同胞の上に、悲しみから歡喜へ――さうした運命が流れて行つたことを、伸一は少しも知らず、相變らず海拉爾兵舍の一室に、慘ましい檻禁の憂目を嘗めさせられてゐた。

小窓の鐵格子を流れ込んで來る光線が、おぼろげに染出す彼の姿を見れば、それは、まるで幽鬼そのまゝの形であつた。

それもその筈、七十日の長い間、一度も太陽の光りに觸れず、憂苦と憤慨とに、身心を寸斷されながら、しかも幾度、自殺を企てたか知れなかつた。けれど、只、妻や市子の上に心が迷ふて、命をつないで來た彼であつた。

髮は雜草のやうに蓬々と伸びて顔に垂れかゝり、髯と鬚とで、まつ黑になつた顔は、まるで古木の瘤物の面のやうに骨立つて、只二つの眼だけが、わづかに生ける者のゝやうにギロ〳〵と動く。

洋服はつぶれのやうにボロ〳〵になり、兩袖からは膝が現はれ、ズボンの裾は海草のやうにビラビラと、足に絡ひついてゐる。

今から偲ばれる 觀兵式の一大盛儀

新京飛行場で全滿國軍を統帥 溥元首の御英姿

帝制實施と同時に皇帝親ら陸海軍大統帥として國軍の最高統帥權を把握されんことを願望する聲全滿に滿ちて居るから溥執政が帝位に即かれるとすれば同時に陸海軍大元帥をも兼れ國軍はこれによつて結成を新にし三千萬民衆の立派な鎭衞として更生するであらうと期待されて居る折も折、我意を強からしめる嬉しいニユースがある、即ち全陸軍の整備を待つて四月下旬新京飛行場に於て軍政部次長兼首都警備司令官于靜修中將諸兵指揮官となり新に編成される禁衞軍、並に在京部隊各省警備軍代表部隊約二萬の精鋭を集め建國最初の大觀兵式が擧行されるが新制定の盛裝に威儀を正した溥元首の新服裝美々しく儀仗兵を引具し親しく閱兵されるであらうとみられ當日の盛典がしのばれて居る

大典の盛況を映畫に納めんと

内外映畫會社員續々來滿

來る三月一日の歷史的大盛典は世界各國の多大の關心を喚びエービー通信その他外國新聞社の記者通信員は續々新京に集りつゝあるがそれと同時に日本内地の松竹、日活その他ゝ小映畫會社の撮影隊ユニバーサルパラマウントのニユース班は早くも當日の撮影準備を進めつゝあり民政部警務司に宛て當日のニユース撮影許可方を願ひ出てゐるが、今回の盛典は特に嚴肅に行はれるため、これらニユース撮影も許可制とし許可なきものゝ撮影は一切許可せぬことゝなつてゐる

全滿からの建白書 日と共にうづ高し

赤誠に鄭總理もいたく感激

全滿各地から國務院に集りつつある請願建白書は全部取纏められ、既に鄭國務總理の許まで提出されこの全滿に漲る三千萬民衆の赤誠は鄭總理をいたく感激せしめてゐる

新調度の紋様は 五瓣の蘭花

三月一日以降執政府内で使用される各種調度品は既に需用處を經て夫々注文が發せられて居るが新調度品には何れも五つの花瓣を有つ蘭の花の紋がつけられる事となつて居る此の紋は花瓣の間に夫々蘭の實六つを挾み極めて床しい重みを有つたものである

協和會で 慶祝方法協議

來る三月一日擧行される滿洲國前古未曾有の御盛典は、特に嚴肅簡素を旨とし、極く質素に行はれることゝなつてゐる、又當日の國民祝賀會は新國都を表象する國都建設區域内の大同廣場に於て行ひ、日滿蒙鮮露の五民族の代表擧つて參列し建國當日より以上の慶祝を行ひ、全滿各地でもこの御盛典を祝して大祝賀會を開催することゝなつてゐる、そのため協和會に於ても、各地事務局と連絡し、目下その慶祝方法の準備を進めてゐる

菱刈司令官設宴

菱刈司令官は十三日午後六時半から官邸に於て滿洲國總理以下各部總長要人を招待晩餐會を開催した

日滿警備會議

新京憲兵隊本部主催の新京日滿警備會議は十三日午後一時から同隊會議室で開催された

拍車をかけた

吉林の帝制運動

〔吉林國通〕順天安民の大義に則り執政を永遠無窮の元首に擁立せんとする新國是樹立運動は滿洲國全土に『亘り』今や將に最高潮に達せんとして居るが特に吉林省に於ては清朝の發生地吉林、清朝旗人の吉林と言ふ歷史的觀念より旗人を中心として元首擁立の熾烈なる熱願は澎湃として全省に漲り亘つて居る、即ち吉林省に於ては建國當初より元首擁立運動が擡頭し省城を中心とする各縣代表民衆代表七十餘名會合してこれが實現に向つて猛烈なる運動が開始されたものであるが王道滿洲國の基礎確立し執政の仁政全滿に遍く施行されるに連れて民衆敬慕の念は該運動に拍車をかけて吉林省の東方に嚴然とそびゆる清朝の聖地長白山を拜し地にひれ伏して實現を祈願するもの日に加はり熱望の聲また日に民衆の間に漲り各縣民衆代表は縣長に、縣長はこれを纏めて省城へ、赤誠を『披瀝』して請願書や建白書を提出するに至つたものである、更に省城に於ける商、工、農各界は地方代表を迎へ一大民衆大會を開催して赤誠のあるところを披瀝してゐる尚今日の日を待望久しかりし吉林旗人は「王道滿洲國の榮光彌增す日近し」とあつて相抱いて歡喜の淚にくれて居る

日高前南京總領事 本省人事課長に

〔東京十二日發國通〕南京總領事須磨彌吉郎氏は十九日東京驛發赴任し着任後前南京總領事日高信六郎氏が歸朝し人事課長三谷隆信氏は遠からずフランス大使館一等書記官に任命される筈である

承德に 火力發電所設置

〔承德國通〕關東軍の斡旋で承德城内に火力發電所建設が計畫されて居たが最近完成三月一日の滿洲國の盛典を期し一般民家に燦然と點燈されることゝなつた

印度側より

日印特派使節交換の議起る 外務省で厚意的に考究

〔東京國通〕日印間に特派使節交換を行ひ、兩國相互間の政治經濟關係を一層緊密にしようとの希望は、豫て印度側に有つたが、日印通商交涉の成立を機會に又もやこの議が印度側から持上つた、右に對し我が外務省も主義上之に贊成の意を表し、厚意的考慮を拂つてゐるが、印度との特派使節交換は日本に於ける英外交代表の兩立を意味し英本國の猜疑心を惹起する惧れがあるので外務省は英本國の充分な諒解を得た上で關係各方面に近く内交涉を開始する筈である

貿易界の非常時に 官民一致で當らん

廣田、中島兩相閣議で力說

〔東京國通〕我對外貿易は生産費低廉と爲替相場の關係から『非常』な發展をなしたので、諸外國は關稅の障壁及び其他によりこれを阻止せんとしてゐるので政府はこれが對策を講じてゐるが、十二日の閣議でも廣田外相、中島商相よりデリー會商はこゝに圓滿成立したのであるが、諸外國はブロック經濟により輸入品の防遏を計り、我輸出品に對する態度の如きは面白くないものがある故、帝國政府としてはこの世界の實狀に鑑み適當の方策を講じなくてはならない旨を報告雜談的に種々協議の結果、帝國政府としては、あくまで輸出貿易の統制を計り販路擴張に努力せねばならぬ故については外務、商工兩省と當業者間で緊密な連絡をとり、愼重に對策を考究し誤らざるやうにすることに決定するところあつた、依つてこの貿易の問題については將來一層この三者間に『隔意』なき打合せをなし遺算なきを期することゝなつた

バルカン半島の

不可侵條約近く成立か

〔アテネ十一日發國通〕歐洲の火藥庫バルカン半島に恒久平和を確保し、國際政局の禍根を除く目的を以て過般來トルコ、ユーゴースラヴイア、ルーマニア及びギリシヤ各國政府間に現狀維持を基調とする不可侵協約締結の交涉が進められてゐるが、關係各國間の同意を得て、愈よ近く協約成立の運びに至るものゝ如くである

乾坤一擲の大決戰 近く展開されん

兩軍の兵力各五萬

〔上海十二日發國通〕中央軍の進擊は古田水口の線に於てピタリと喰止められ、目下中央軍は『延平』にあつて勢揃ひを行ひ福建軍亦續々前線に十九路軍の後續部隊を送りつゝあり乾坤一擲の決戰は茲數日中に展開されるものとしてゐる、福建側の兵力は所謂十九路軍の基本部隊たる陳光漢、毛維壽、區壽年の三軍（約四萬）之に新編ではあるが譚啓秀、張炎軍を加へる時は少くとも五萬に達する、これに對し中央軍側の兵力は九ケ師乃至十二ケ師と稱されるが、側面よりする共產軍の脅威で、多數の兵力を割くため參戰部隊は最大五、六萬とみられてゐる尚福建側の第一線は延平を放棄した陳光漢軍の一部が棒潮犬溪口一帶に引退り水口、黃田の譚啓秀部隊と呼應して閩江を挾む山岳地帶を固め、更に右翼、古田の譚啓秀麾下の趙一肩と連絡して『嚴重』なる陣地を完成し中央軍の進擊に備へてゐる

水口奪回 福建軍奮ひ

〔福州十二日發國通〕確實なる筋の情報によれば十一日福建革命軍は閩西、水口附近で中央軍と激戰の後遂に水口を奪回し、蔡廷楷氏以下前線に出動指揮に當つてゐる

厦門在留邦人保護のため

我驅逐艦警備につく

〔東京國通〕厦門總領事より本省に達した情報によれば中央軍の厦門回收は數日に迫り同地邦人の生命財産を保護するため厦門外港に入つた驅逐艦太刀風は十一日厦門内港に移動し、同日馬公より秋風が到着警戒してゐる

福建に對し停戰協定提示

蔣介石對外問題惹起を虞れ

〔上海十二日發國通〕支那側消息に依れば中央軍は既に福州間近かに迫り之に對し蔡廷楷は起死回生の一大決戰を準備しつゝあり、蔣介石はこの儘軍を進めるに於ては徒らに兩軍の犧牲を大ならしめるのみならず福州を混亂に陷らしめる結果以外に對外問題を引起す虞あるに鑑み十一日蔡廷楷に對し左の條件を提示して停戰協定に應ずるやう勸告した

一、人民政府を取消し、李濟深、陳銘樞の下野を認めること
一、福州を中央部に引渡すこと
一、十九路軍は中央指定の地域に撤退すること

中央との折衝を終へ 田邊參議十四日歸任

昨年末來滿洲國當面の重要案件を齎し中央政府と折衝のため上京中であつた田邊參議は來る十四日の「鳩」で歸任する事となつた

黃郛氏南下す

中央と對日問題協議のため 成行き重視さる

〔天津十二日發國通〕黃郛氏は本月十六日南下することゝなつた、今次黃氏の南下は四中全會を前に中央と對日問題其他につき衰退の一途を辿りつゝある北支黃政權として最後的重要打合せをなすものとして場合によつては歸直下その辭任を見るやも計られず成行重大視されてゐる

馬占山天津で 落魄の日を送る

救國反滿の笛に民衆踊らず

〔チチハル國通〕十二日某所に達した情報に依れば、黃顯二十六日河北印花煙酒稽徵分局劉廷顯より突泉縣第三區長任の馬耀中宛就職依頼の通信文中馬占山の近況に就き微細に記載されてゐたが、通信内容は大要左の如し

馬占山は目下天津華北三條胡同十六號に居住し、舊復渠、于琛忠等の援助を受けて生活してゐるが、その困窮實に見る影もなく哀れなる情態である、昨年十二月初旬舊歸復渠、于琛忠等より馬占山殘黨の散在する滿洲國北滿一帶の土匪を買收し滿洲國攪亂を敢行し、饒山縣城内に抗日救國軍總司令部を設立し、河北、山東兩省の紅槍會匪を糾合すると共に「山東、河北の民衆に訴ふ云々」と題する排日檄入りの宣傳文を配布して救國資金の募集に努力したが一部學生間の贊同を得たるのみで、一般民衆は失地恢復不可能を自覺して居ることゝて失敗に終り、救國資金募集開始と同時に義勇軍旅長玉兆熙を滿蒙に派し滿洲國境に散在する舊部下及び土匪と連絡を開始せしめ云々と記載されてあつた

決戰の火蓋

遂に切られたか

〔杭州十二日發國通〕中央側消息によれば中央軍は目下一二三方面から古田を包圍激戰展開中である

滿鐵社員會 評議員改選

廿日は投票日

各方面から異常な注目をひきつつ結成以來の重大時機に際會してゐる滿鐵社員會は創立三十年來築き上げた滿鐵の改組問題が世間に叫ばれつつある今日社員會評議員總選擧が一週日の後に迫つて來た、即ち來る廿日はいよ〳〵投票日であるが社員會では「三萬を背負つて立つ評議員」「眞の代表社員の福祉」「選べ!!熱と力と肚の人」の三スローガンを押立てて各自暗中飛躍がつづけられてゐる

澤田代表 二月五日歸國の途に就く

〔東京國通〕新日印通商條約草案は目下起草中であるが、廿五日に假調印を了し澤田代表は二月五日コロンボ發の箱崎丸で歸國することゝなつた

滿鐵アルミニユーム試驗工場 二月より操業開始

〔大連國通〕撫順に試驗工場として三十五萬圓の豫算を以て建設中のアルミニユーム工場は諸設備殆ど完了したので愈よ二月初めから操業を開始することゝなつた

外務辭令

〔東京國通〕
南京總領事 須磨彌吉郎
兼公使館一等書記官

人事往來

▲熙治氏（財政部總長）十二日午後零時三十分發吉林へ
▲孫輔沈氏（吉林實業廳長）同上
▲李文炳氏（吉林警備第一〇〇團長）十二日午後三時二十五分着哈市から
▲尹少將（江防艦隊司令）十二日午後四時三十分發東京へ
▲川端少佐（駐滿海軍部）同上
▲藩島榮郎氏（前首都警察廳警務科長）同上
▲謝介石氏（外交部總長）十二日午後七時三十分着大連から
▲アントンボート氏（新民佛國天主傳教司鐸）十三日午前八時三十分發哈へ
▲刑士廉氏（吉長地區警備司令）同上
▲東宮少佐（軍政部顧問）同上
▲韓雲階氏（前黑龍江省長）十三日午前九時發奉天へ

經濟欄

訂正 十三日朝刊「在滿警備機關統一問題現地で難關に陷る」の記事中「幹部は軍部、關東廳員を以て」の中「軍部」を削除す

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 一九片一六分五
同先限 一九片八分三
紐育銀塊 四四留比四分一
米英爲替 五〇四仙八分三
米日爲替 三〇弗三七仙
米支爲替 三四弗五〇仙
スチール株 四七弗八分七
アナゴンダ株 一五弗八分七

▲米市俄古小麥
現物 一〇二仙〇五
一月限 一〇一仙七二
三月限 一〇一仙七八
五月限 一〇〇仙九五
七月限 一〇〇仙八八
九月限 一〇一仙一九
十二月限 一〇一仙四四

▲印棉
五月限 八四仙八分七
七月限 八五仙八分一
九月限 八六仙四分一
ブローチ 一六八留比
オームラ 一九九留比
ベンゴール 一四三留比

▲上海漂金
昨止 六六五〇
高値 八六四〇
安値 八六五〇
本寄 八六五〇
歩値 八六五〇
[illegible]

▲上海日本向
第一回 一一三〇〇
第二回 一一三三五
第三回 一一三八七五

▲上海倫敦向
買値 一志四片八分一
賣値 一志四片一六分三

▲上海紐育向
賣値 三四弗二二分一
買値 三四弗八分五

▲上海滙金建
日本向 一二三弗〇〇
倫敦向 一志三片八分七
紐育向 三四弗〇〇

▲大連金鈔票
現物 一二八〇〇 一二六〇〇
寄付 [illegible]
歩値 [illegible]

▲大連上海向
引出 不來
高値 不出
安値 申
（その他数値 [illegible]）

各地市場

▲大連煙台向 [illegible]

▲阪神日米爲替
第一回 三〇弗八分一 三〇弗一六分三
▲阪神日英爲替
賣値 一志二片一六分三
買値 一志二片四分一

▲大阪株式
株 新 紡新 新
[illegible]

▲同短期
[illegible]

▲大連株式
[illegible]

▲大阪三品
[illegible]

▲大阪棉花
[illegible]

▲大阪期米
[illegible]

▲仁川期米
[illegible] 未着

▲横濱生糸
[illegible]

▲神戸豆粕
[illegible]

▲大連特産
[illegible]

新京市況

特産 大豆 高粱 包米 小豆 [illegible]
錢鈔 鈔票對金票 現大洋對金票 國幣對金票 現大洋對鈔票 [illegible]

郵便局窓口で二百余圓すらる

受取つてポケツトへ入れるほんの僅かの間に

十三日午前九時五十分ごろ新京守備隊第〇〇大隊〇中隊上等兵井上吉郎氏が新京郵便局貯金現金受取口で公金二百七十五圓を受取り貯金口に置きポケツト内にしまわんとした際早くも二百七十五圓が何者かに窃取されてゐるため驚き直に新京署に屆出た、同署から時を移さず刑事隊が現場にかけつけ郵便局內入口を閉鎖し居合せた人々に就き取調たが犯人を逮捕するにいたらなかつた

一、二、三等寝臺列車は營業中止中であつたがいよく來る十四日から一、二等寝台車を連結して平常通り營業することゝなつた、三等寝台車は當分の間左記の列車日程に於ては寝台車營業を中止すること

第五十一下り列車十四日、十七日、二十日、二十三日、二十六日、二十九日、新京驛發清津行き、第五十二上り列車十五日、十八日、二十一日、二十四日、二十七日、三十日清津發新京行き

兒童慰安巡映

十九、廿兩日兩校で　面白く爲になるもの揃ひ

滿洲の第五十二回兒童慰安巡回映畫は十九日西廣場小學校講堂、二十日室町小學校講堂で何れも午後一時から開催される、上映のプログラムは左の通りで會費は大人十錢、兒童五錢

一、寶宣「弱き者の戰術」
二、漫畫「蜘蛛のいたづら」
三、体育「健康美」
四、喜劇「ロイドの失敗」
五、史劇「義人吳鳳」

いづれも兒童向きに面白く爲になるものばかりである

新京の傳染病現在

一月一日から七日まで一週間の新京の傳染病患者數は日本人五名內二名はヂフテリア後二名は赤痢、腸チブス、流行性腦脊髓膜炎で滿人が赤痢一名合計六名で滿鐵沿線各部別に見ると新京は第二位、第一位は相變らず奉天で、奉天は十三名內十名は疱瘡、後三名は腸チブス、ヂフテリア、流行性腦脊髓膜炎である

京圖直通車　十四日から復活

京圖線では去る五日二道河、柳樹河間で上り第五十二列車の脫線顚覆事件以來第五十一、二（新京清津間直通）兩列車は

滿人兒童入學難　今年は一層殺到しやう

事變後の滿洲人の日語熱の旺盛になつたことは屢報の通りであるが新京でもその傾向著しく新京公學校の如きも事變前同校入學志願者は二百余名であつたところ昭和七年は三百に達し同八年度は三百六十にもあつた九年度の志願者同校の豫想は少くとも四百を越ければ四百五十名を突破するものと見てゐるがこの四百余ある志願者中同校採用人員は百二十名あるひは百三十名程度で志願者數の三割しか入學出來ないわけで公學校では來月から生徒募集をするが一にも受驗難、試驗地獄に喘いでゐる滿人兒童のいぢらしさが見られる

デモ團代表

ルデイ局長と會見　零下三十度の街上をデモる

【ハルビン國通】既報北鐵運賃の値下同運賃の國幣建を絕叫するデモ團代表日滿人五名は十二日北鐵監理局長ルデイ氏、同理事長代理パンドウラ氏等と會見し、非常な緊張裡に押問答を繰返したが、パンドウラ氏と會見の際はソ聯側の煮え切らざる態度に憤慨したデモ團の一部十數名は突如理事會內に闖入した場面が展開されたが、無事なるを得た一方五名の代表はパンドウラとの會見顚末をデモ團に報告し「ソ聯側に誠意の無いことは判然としたから、目的達成のため今後益々一意專心力闘を望む」とデモ團を激勵し之よりさきデモ團は零下三十度の嚴寒の中に全市を練り歩いて氣勢を擧げ十二日夕方一先づ散會したが成行は重視されてゐる

井之上警部出張

新京署井之上保安主任は十三日から五日間の豫定で奉天、大連、旅順に保安事務視察のため出張した

不在中出火

十二日午後八時三十分ごろ市內八島通加藤牧場內高部カノさん方家人不在中出火したが新京消防員がかけつけ消火に努めた結果同九時鎭火した、原因は溫突の過熱と判明した

南嶺兵營の炊事場出火

十三日午前十一時二十五分ごろ南嶺駐屯第〇〇〇隊將校宿舍炊事場から出火、急報に接し滿洲國消防隊員、新京消防隊員が急行し消火に努めた結果、同天井の一部を燒失し午後零時二十五分鎭火した、原因はペーチカの煙突から天井に引火したものである損害は百圓

喜多教授講演會　十九日商業で

近く早大スケート部選手を引率して來京する早稲田大學教授喜多壯一郎氏の講演會を新京地方事務所主催の下に十九日午後六時半から商業學校講堂において開催されることゝなつた

西本願寺の御正忌法要

新京祝町西本願寺に於ては十三日より十七日まで毎日午後一時からと午後七時からの二回宛御正忌法要を勤修する

新京日本基督教會日曜禮拜

一、午前九時　日曜學校
一、同十時十分　朝拜
一、午後七時　夕拜

「基督教の友情」富田牧師
「心靈の防禦工作」

どなたも御來聽を歡迎致します

日の出を拜するつどひ

十四日（日曜日）朝六時五十分より西公園誠忠碑前にて（新京日出時刻七時十分）因に市民早起會の會日は七時

割烹相生　うなぎで好評

大和通り九一番地通りに面し角に出來た割烹「相生」舊臘開業し未だ日は淺いが仲々連日好評殷盛を極めてゐる女將は元「やよい」に居つたお花さんで主家を辭し顧客の後援もあり一本立ちした店、氣輕で親切御馴染の方、仲居連も粒撰り藝妓抜きで靜かに家庭的享樂し得るとの評判向板場は東部より招聘し最もうなぎ蒲燒を得意としてわざく現在內地本場より荷引してゐるとの御自慢、宴會は階上廣間で三十人迄手輕に引受る由、食通連のよき試みをと紹介して置く

中央銀行催宴

滿洲中央銀行南廣場支行開設披露宴は十二日午後六時三笠町大陸春で催された榮總裁の挨拶、と宮川經理の紹介があり來賓代表吉澤總領事の謝辭があつて開宴、日滿藝妓酒間を斡旋鄭重な支那料理に日滿官民各界の代表百數十名と中銀山成副總裁以下幹部と寛いで歡談八時頃散會した

洗染業組合新年宴

誕生後第一年の春を迎へた新京染洗業組合は十四日午後六時から料亭曾我廼家で組合員ならびに關係方面を招待して新年宴會を催す

落しもの

▲奉天鐵道西工業地區三馬路幸山季春氏は十二日午後九時三十分ごろ祝町五丁目から日本橋通三十八番地に來る際蟇口一個在中四圓五十錢を落した
▲白菊町十一番地ノ四土居房吉氏は十二日午後四時ごろ自宅から新京署に行き奉天行き列車に乘車し列車內に滿電制服外套一着を置き忘れた
▲城內六馬路白井とみゑさんは十二日午後零時ごろ市內帶止め一個プラチナ台にダイアと眞珠入時價七十圓を落した
▲滿洲國々都建設局警備員鈴木文次郎氏は十二日午前十一時四十分國道局から新京商業學校に行く間黑皮製二ツ折鞄在中現金二十五圓を落した

盜難屆

▲羅津滿鐵建設事務所石田政實氏は五日午後十一時四十分新京着列車で來京の際列車內で現金七圓を窃取さる

新京驛の乘降客は素晴しい躍進

昨年中に百二十二萬に上る　苦力の動きは少い

昨年中における新京驛の乘車客は六十四萬五千七百十八人降車客五十七萬一千九百二十八人でこれを前年の同期に比べると乘客において十萬九千廿八人、降客において十七萬六千九十二人といふ何れも激增で更にこれを事變前である昭和五年中の乘車客四十萬五千百七十二人、降車客四十二萬八千六百六十六人からみるときはこれ亦著しい增加であるが乘車人員に比較して降車人員の增加率が少いのは出稼苦力の動きが事變後急に少くなつたためで一般降車客は事變前よりもすばらしい增加をみてゐるわけである

輸入貨物殺到で倉庫難

【大連國通】滿鐵では豫て大築港計畫として諸施設を實行中なるも、滿洲國建國以來の輸入貨物の殺到は非常なもので、倉庫の不足を來し、その應急策を考究中のところ今回愈よ第一埠頭に總工費八十萬圓を以て輸入專用の大倉庫を建設する事となり四月より着工十月迄に完成の豫定である

愛國機　大學生號生れん　一人宛廿錢の據金で

【東京國通】來るべき一九三六年の日本の危機に備ふべく全國十萬の大學生は一人廿錢宛の據金を以て愛國大學生號飛行機を寄附する事になつた

辯護士の公判闘爭に　當局斷乎たる處置を採る

【東京國通】血盟團公判忌避事件は酒卷裁判長の辭職とまでなつたが神兵隊事件天野辯護士の取調べで辯護士等が公判に波瀾を捲き起し次の實行運動の下準備として人心刺戟の具にせんとせる事情判明し第一回の血盟團公判に於て檢事より若し辯護人が斯る公判闘爭を計畫せば斷乎たる處置を執ると宣言するものの如し

編隊無着水飛行後　マ總指揮の豪語

【ホノルル十一日發國通】米國海軍機の編隊飛行の總指揮マクギニス少佐は、今回の飛行で無着水長距離飛行にすつかり自信をつけたものゝ如く、太平洋の眞只中ハワイを去る一千二百マイルの洋上にある米國領ミツドウエイ島迄サンフランシスコから一氣に飛べると豪語して曰く

今回の編隊無着水飛行は二十五時、余に及んだが途中の飛行條件はあまり良く無かつた、何しろ西方に向つて飛行を續けるのだから、夜間が長く、時間以上夜が伸びた結果前後約十五時間夜間飛行を續けた譯だ其上屢々濃霧に惱まされ從つて僚機が分れ分れになつた位だが、大したことも無く難なく編隊飛行の隊形を整へる事が出來た、眞珠灣に着水した際もまだたつぷりガソリンは殘つてゐたから、命令さへあらば一氣にミツドウエイ島まで飛行出來たらう

尙ほ上陸した將卒卅名は流石に疲勞の色を現はし、何も喰べたくない眠り度いと語つた

航空本部談

【東京國通】米國海軍の大機編隊のサンフランシスコ、ハワイ間無着水飛行成功に就き我航空本部では左の如く語る

武裝せる軍用飛行機の編隊長距離飛行につき研究中の米國海軍にとり、米本土ハワイ間の連絡に成功したことは航空戰術上重要意義あるが、航空術の現狀よりせば驚くに當らない

軍事工作

―一ケ年を顧みる―

大同元年度に於ける匪賊總數はその最盛期に於て約三十萬と云はれ、國內の治安維持に當り大變な障碍物となつて横つてゐた。之は當時日本並に滿洲國政府當局者の最も腦まされたものであつたが、大同二年に入るや當時熱河に在つた鴉片王湯玉麟が半ば公然と支那政府と連絡し反滿態度を示し、再三に亙る滿洲國側の勸告も應じないので、遂に二月日本軍の指導共力を得て討熱の師を起し、討熱作戰軍總司令部を組織し張軍政部總長自ら司令官となり熱河總攻擊を開始し、破竹の勢を以て一氣に湯玉麟軍を省外に押し出して了つた此の熱河作戰に於ける日滿兩軍の積雪を蹴つての快足と活躍は今尙世人の胸に新たなるものである

續いて江防艦隊の充實が行はれ、大同利民の二艦並に恩民惠民普民の三砲艇の補充を見舊政權時代以來全く放棄の形にあつた黑龍江溯行が決行さるゝに至つた。八月上旬ハルピンを出發した大同利民は途中松花江沿岸の匪賊を討伐しつゝ黑龍江に出で、九月上旬オノン河と額爾克納河との合流點に到達、更に額爾克納河を溯る事二十キロに達したが此の壯途に依つて邊境の人民は始めて滿洲國の旗を見、その軍艦來著に依つてソ聯の脅迫より脫する事が出來加ふるに邊境河川の航運の發達に多大の貢獻を行つた

黑龍江省、興安省は大同元年末期に行はれた蘇炳文、張海鵬叛軍の徹底的討伐に依つて全國で最も匪賊の少い省であり、熱河も既に平定し、東邊道、三角地帶にも漸次に亙る剿匪工作の結果、大集團匪は存在せず獨り吉林省のみは相當優勢な匪賊が諸所に蟠居して居たが、日本軍の指導應援を得て吉林省警備軍を主体に黑龍江警備軍、靖安軍各一部を以て十月下旬大同二年最終の大討匪行を敢行し五回に亙り各地の大小匪賊を潰滅殆ど明以上の効果を收める事が出來た

斯くて全滿に亙つて嚴正を見るに大集團匪は存在し得なくなり全國の匪賊數は約四萬餘となつた、之れは大同元年の最盛期に比して實に大分の一であり事變以前の統計よりも少く目覺しい治安の恢復狀況と、涙ぐましい迄に努力を續けた日滿兩軍の剿匪工作の跡を如實に物語るものである

此の不斷の討匪行と相俟つて軍政部では滿洲國軍人の素質の向上を計り、中堅將校の日本留學、實地訓練、學校教育服制の統一、私兵觀念の打破各省警備軍會計の中央統制等を行ひ實に著しき躍進振りを示した

本年は專ら大同二年度に於て築かれた礎の上に立つて、諸軍事施設の整備並に將兵の素質向上が圖られ、斯くて舊政權時代人民怨嗟の的であつた軍隊が三千萬民衆の全く信頼し得る軍隊になるであらう

待望の學良歸國に　今や幻滅の東北將領

見透さるゝ彼等の運命

【天津十一日發國通】萬福麟、于學忠、王樹常、王以哲等北支各將領は學良歸國問題に對する態度決定の爲、七日夜萬邸に集合討議するところあつたが既に三回分未拂の軍費問題等に對して何等かの解決を期待し居るも學良の北上或は學良に依る東北軍の再興に就ては萬等を除く外は表面上贊成し居るのみで、何等別に大した明待を持ち居らず、物分りのよい若手將領連は福建問題解決後來るべき運命は東北軍の改編と見極めをつけこの際現實的に望みのある他の方法で局面を打開しやうと暗中飛躍を試みてゐる、然し一般に何とかしたいと思つても實首も無く給料不渡等でそれ丈けの覇氣も無く、學良の歸國に依つて何とかなるだらう位の氣持ちで必然に來る東北軍の末路と云ふ現實に直面する事を暫くでも避けてゐると云つた情態である、それ丈けに學良歸國に依つて得るところ何物も無く、移駐改編が愈よ目前に迫つた場合の自暴自棄的反動は大なるべく學良の歸國に對する東北將領の動きは注目されてゐる

法政大學紛爭　益々惡化

【東京國通】法政大學野上學科長解任に伴ひ教授間の暗闘が暴露したが、大學當局は野上派の七教授を昨日罷免したので他の野上派三十七教授は十二日辭表を提出し事態は益々惡化し、學生側は大學支持の聲明を出した

再爆發の口永良部島　前回より猛烈

【鹿兒島國通】舊臘二十四日爆發した鹿兒島縣下口永良部島は、その後一時鳴りを鎭めてゐたが、又もや十一日午後四時二十分頃一大音響と共に大爆發をなし、火災は前回にもまして物凄く、上屋久村永田部落には降灰と共に、拳大の熔岩が盛んに落下し危險に陷つたので、同部落民は一齊に避難を開始した

兒玉博士の外遊に　足留の電報

【大連國通】桃色事件の兒玉博士が傷ついた心を學術研究によつて癒さんものと十一日歐洲に向け外遊する豫定であつたことは、既報の通りであるが、博士が將に故國を離れんとする前日十日大連地方法院より博士の郷里に足留めの急電を發し、更に十一日には二月二日出頭せよとの急電が發せられたので博士の外遊は一時中止の已むなきに至つた

岡田時彦危篤

【京都國通】新興キネマの岡田時彦氏は肺炎のため西の宮自邸にて靜養中の處十二日危篤に陷つた

田所氏嚴父逝去

【大連國通】滿鐵經濟調査會副委員長田所耕耘氏の嚴父は十一日和歌山の郷里に於て逝去の旨滿鐵に入電があつた

宮中顧問官　佐藤愛麿氏逝去

【東京國通】宮中顧問官正三位勳一等佐藤愛麿氏は麻布鳥居坂の自宅で十一日午後十時突然動脈硬化で倒れ、手當の甲斐なく十二日午前零時四十五分逝去した享年七十八歳、氏は津輕藩の出身で米國に留學し、明治十九年公使館書記官となり、オランダ公使、米國大使、伏見宮別當等を經て現在宮中顧問官であつた、尙駐佛大使佐藤尙武氏はその養子である

コツプ氏の死因　失業より自殺と判明

【横濱國通】英人會計士コツプ氏は失業による自殺と認定された

早大チーム　一日遲れる

早稲田大學スケート部一行は十八日來京の豫定であつたが安東での試合の都合で一日日延べやむを得ず來京も一日繰りのべて十九日午前七時となつた、その爲新京での各試合も全部一日づゝ繰り下げると

清川五百米背泳に　世界新記錄

【東京國通】日本水泳界の女王前畑秀子孃は二百十米突平泳三分零秒八、四百米突六分二十四秒八、五百米突八分三秒八ノ三で新記錄を出し、清川正二君は四百米突背泳に五分三十秒を出し世界記錄として世界水上聯盟から公認された

花街の卷　千代ちゃん

八千代館の雛妓千代子、新京の水にも馴れ、ねへさんたちの訓練がいきとみへて、その朗らかなサービスはお客さんをよろこばし、千代子くと可愛がられて居ります、あの明眸はいよく冴へて些の邪念を宿さず、笑ふと双頰にあらはれるエクボ

×

このエクボを見たさに、何とか彼とか云つて笑はせやうとするものが多いやうでありますが、盃を手に千代子の方を見ると彼女はすぐにお銚子をもつてやつて來る、さうしてニツコリ笑ふ、笑ふとたちまち現はれるエクボ、默つて盃をつき出すと中は一杯

×

あらア、と、びつくり、例の明眸をかゞやかしてお銚子をひつこめてこゝでまたニツコリ笑ふと現はれるエクボ、するいワ召上れ……と改めてお銚子をもちなほす、まアね君が飲んだら飲むよたんて醉拂ひ氏は無雑な作女をしますがこゝでも又ニツコリ笑つてエクボを見せて逃げてしまふ

×

これはそのエクボの千代ちやんの寫眞であります、寫眞が小さいのと、この寫眞はよそ行きの顔ですましてうつしたのでありますからエクボが見へないかも知れません、もし見たかつたら眼鏡で見て下さいまし

けふの銀相場

鈔票對金票	二八〇四〇
現大洋對金票	二二四二〇
國幣對金票	二二三〇〇
現大洋對鈔票	九四二〇

新京區公示第二十五號

行旅死亡者ニ關スル件公示

原籍福島縣佐々木兵一氏（四三歳）ハ昭和九年一月六日新京滿鐵醫院ニ於テ病死シタルニ付心當リノ向ハ當所迄申出ラレタシ

昭和九年一月十日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章

慶安異聞 艶魔地獄

(講上演 映畫化)

玉水三郎

(繪) 長谷川小信

(百四十三)

竊り燭閃(八)

「オイお母ア、いやさお辰婆ア。手前三百兩の玉を、眞實に玉なしにして了やがつたな」

妻戀坂の三五郎は、突然お辰の胸倉を取つた。

「ナ、ナ、何だつて玉なし……冗談言つちや困るよ。何の若い達者な女が死ぬもんかね……痛い、お放しよ。無法な事をしてさ」

「さア勘辨出來ねえ。お八重を生かして返すか、それとも三百兩耳を揃へて出すか。それまでは放さねえ。太え婆アだ」

「マア待つてお呉れよ。打ち所が惡くつて、目を眩してゐるんだらうから、兎も角容子を私に見せてお呉れ」

ヤツト突放されたお辰は、お八重の蓋たはつてゐるつゞらの傍に來た。

「婆ア見ろツ、もう冷たくなつて了つてらア」

「イヽエそんな事はないよ。鳴尾に未だ温か味があるやうだ」

「そんなら生かして還せ」

「待つてお呉れよ。今水を持つて來るから……」

「そんな事を言やがつて、逃げたら承知しねえぞ」

一間を出やうとするのを、三五郎が帶際取つて、引戻した。

お辰は狠狽してゐた、三五郎も手荒かつた。お辰は岩疊なやうでも、七十に近い老齢、自分で自分の身體が、思ふやうにならなかつた。ヨロ／＼とした途端、つゞらに倒れ懸つた。

其つゞらの蓋には、探偵術の手燭が置かれてあつたので、それが直ぐ倒れた。

漆と油とに塗られた古つゞらの紙は、半ば以上剝がれて、枯切つた竹で編んだ芯が顯はれてゐた。

火は其紙に移つた。紙より竹に燃え移つて了つた。

三五郎はそれには氣附かず、弓の折れを拾ひ上げた。

「婆アめ。こんな物で纎弱い體を打ちやがつたんだ。目も眩す筈だ。鬼婆アたア彼奴の事だ」

罵り言を云つた三五郎が、初めてつゞらの火に氣が附いて、

「ヤツ、婆アめ好い氣をして、粗忽かしい阿魔だ……オヽもうつゞらの中は一杯の火だ。コリヤ大變だ……オイ婆あさん」

婆を呼びながら、三五郎は手にした杖で、つゞらの火を打消さうとした。

焦けたつゞらの中は、古い布切れや、紙屑で一杯であつた。それが悉く火となつてゐる。力に任せて打たれたつゞらは、忽ち兩臘されてパツと猛火は狂ひ出した。

火焔は容赦なく傍への古屏子と古紙門とを舐め廻つた。

まだ人心地つかずに、炎々たる火中に蓋たはつてゐるお八重は聢に一時の人事不省だつたのだらうか。

漸くにして茶碗に一杯の冷水を汲んで來たお辰婆に、

「婆あさん水だ……エヽツ、手緩いで汲んで來い」

「アヽツ、火事」

婆の膝はフタ／＼になつて、茶碗もつた儘動けなくなつた。

日曜 乙酉 先負 成 房宿 / 舊十一月十九日 / 十一月廿九日

●一白の人 輕はづみすれば幸運に見離され災害あり 巳と戌と辛が吉

●二黒の人 飛鳥の網に罹るが如し希望計畫は中止せよ 丙と辛と亥が吉

●三碧の人 運氣平穏なれども物事に迷へば過ちある日 乙と庚と寅が吉

●四緑の人 人の指圖に從ひて我意を通さねば安全の日 巳と申と癸が吉

●五黄の人 放漫に流れず緊張すれば一家は安泰なり 甲と辛と亥が吉

●六白の人 困難を物ともせず後の樂みを思ひて努めよ 乙と丁と辛が吉

●七赤の人 人の世話燒より身の周りの仕末をするが吉 丙と庚と亥が吉

●八白の人 土地不案内の闇路を辿る如し足元をば用心 甲と丁と艮が吉

●九紫の人 峠に憩ふ旅人の如し後は下りにて骨折れず 乙と亥と癸が吉

新京日日新聞
第三種郵便物認可

帝政要望熾烈！協和會も矢面に

怒濤の如くに押寄せる群衆
全民衆請願大運動の火蓋遂に切る

溥執政を我等が皇帝に、旱天に慈雨を求める如きこの民衆仰望の聲は漸次山間僻地から畝を取る農村から、工場の窓から澎湃として全滿を席捲しつゝあるが復辟運動と混同し易く、之がため延いて民意の發動をさへ

【抑制】

する態度が執られてゐたが三千萬の民意を代表する協和會は怒濤の如き帝政要望運動、民衆赤心の叫びに遂に意を決し、全滿六十萬の會員を總動員して民衆請願大運動の火蓋を切ることとなつた、矢は既に弦を離れた、帝政要望の聲は愈よ强化し、全滿五百九十の分會、五十八の辨事處、六つの地方事務局、新京の中央事務局に送達される請願書は机上に山と積みこ殺倒す、嘆願人は門前市を成す狀態を呈しつゝある、この白熱化せる

【陸續】

民衆の聲はやがて擴大集結され近く何等かの形式に於て具体化さるべく頗る興味を以て迎へられてゐる

菱刈大使が執政府を訪問
鄭總理とも會見す

菱刈大使は十三日午前九時半官邸發、國務院に鄭國務總理を訪問、同十時半執政府で溥執政に面謁、十一時半官邸に歸還した、尚は十二日の定例會見を都合に依り變更したものに過ぎないが、滿洲國重大國是の變革期待される折柄であり、大使と執政の會見は多大の注目を惹いた

盛典を控へて
燦然輝やく興運門

滿洲國の記念すべき三月一日の盛典を控へ執政府に於ては修築其の他必要なる改築修繕を急いでゐるが既に執政府正門の改築なり、其の名も床しく興運門と命名され、新裝なつた興運門は正面に鮮かに双龍珠を爭ふ浮彫あり其の上部に金色燦爛と興運門の三字が掲げられてゐる（寫眞は新裝なつた興運門）

新國是を内示
遠藤廳長から

滿洲國々務院總務廳長遠藤柳作氏は來る十五日午前十一時を期し在京新聞通信社代表に參集を求め目下世の視聽を蒐めつゝある滿洲國々家の重大事項に就て經過と將來への新しき方針を説示することゝなつた

日滿憲警首腦部協議

三月一日の盛典を前にして馬場新京憲兵隊長は警戒打合せのため十三日午後二時新京警察署、領事館警察署、首都警察廳各首腦部の出席を求め、憲兵隊本部會議室に於て協議をなした

ソ聯從業員近く釋放せん
北鐵交渉促進の前提

滿洲國司直の手で監禁取調中の北鐵從業員は近く取調べの一段落と共に、釋放せらるゝが、右により停滯せる北鐵交渉再開も促進せらるゝものと期待さる

外務臨時職員制改正
勅令公布さる

【東京國通】十三日勅令を以て外務部内臨時職員設置制中改正の件を公布、即日より施行されたが、右は滿洲事件の事務に從事せしむるため、在外公館に大使館一等書記官一人、大使館理事官二人および書記生、通譯生を通じて十一名增員するものである

久方振りで愈よ再開近し

【ハルビン國通】日本政府の好意的斡旋も效無く、ソ聯政府怪文書發表以來北鐵讓渡の交渉は全く停頓狀態を續け來つたが最近東京に於けるソ聯大使の廣田外相訪問以來滿ソ會商に一縷の曙光見え再開の機運は著しく促進せられ、中絶久しきに亘つた東京に於ける滿ソ會商は廣田外相斡旋の下に愈よ近く再開されるに決定した

對議會策を練る
政友會有志代議士會

【東京國通】政友會の木暮、船田、蘆田、星島等の諸氏發起となり來る十七日午後六時より對議會策の有志代議士會を開催することになり、黨内約百名の有志代議士に招待を發したが、發起人其他少壯代議士間には我黨幹部の對議會策を觀るに、單に漠然とした是々非々主義と言ふのみで確固たる對策が無く政黨否認の聲が高い今日斯の如き態度をもつて臨むことは益々其の傾向を助長することゝなる虞れあるを以て刻下の重大問題たる米價對策をはじめ農村對策並に國防外交等の諸問題に就て黨の態度を決定し、正々堂々たる陣容をもつて議會に臨むべしとの强硬論が相當有力である

改元説に反對
「大同」制定の責任者をどう？
是非は未だ決せず

滿洲國某重大國策遂行に伴ふ改元説に關し、最近反對論を唱へる者が現はれ、改元の是非は未だに決定せぬが、反對論者の主張するところは大同を廢する理由が、遼時代の年號にして然も大同時代の治績が惡政であつたといふが、斯の如き理由を以つて大同を廢するとすれば建國當時大同なる年號を制定した責任者は見してその責を負はねばならぬ、現在の大同時代は、建國以來その治績顯れ、善政が布かれてゐるのに何故改元の必要があるか若し改元するなれば大同制定者の責任を問ふべきであると云ひ、今や改元すれば責任者の引責問題を惹起するの形勢となりつゝあり、改元問題は全く行惱みの狀態となつた

臺銀二分增配

【東京國通】臺灣銀行では三月一日の定期總會に利益配分案を附議するが前期の營業成績良好なる故二分增配の五分配當にしたい意向である

華北反蒋陣營と
(二) 岐路に立つ舊東北軍

斯くて中央系勢力の失墜益々反蒋反南京の氣勢に油を注いでゐる觀がある、さて誰が眞先に反蒋の第一矢を切つて立つかと言ふとこれが甚だ疑問である、山東の韓復榘は從來屢々起つべく噂されて未だに腰を切らないスローモーションの男であるが、彼は察哈爾主席の宋哲元とよく宋が起てば自分も起つと言つてゐる程一番近い山東に腰を据へてゐる彼としては若し輕々しく起つて他に響應するものがなければ自らが中央軍の押し潰すところとなるのは明かであつて義に同僚石友三が反中央の旗を掲げた時も彼の自重は彼の破滅を救つてゐるのである、韓が容易に腰を切らないのも無理もない話だ、宋哲元に至つてはモーションの遲い事韓以上で同系の方振武、吉鴻昌が自分の繩張り内で旗を掲げても涼しい顔して眺めてゐたと言ふ感じの鈍い男である

×

尤も支那の軍閥稼ぎは一種の内實で輕々しく動いたら負けと損をする、運鈍根と言ふのが最要の三要素だと言ふが支那の軍閥にはこの鈍さ根さが一番必要であるとされてゐるところで、この宋哲元も韓復榘が立てば自分も立つと言つてゐるといふから際限のない話で大向ふの方が先にシビレをきらしてしまふ、だから外力の作用せざる限り西北軍の旗揚げは當分實現しさうもない、況や河北にあつて虎視眈々中央に忠勤を擢んじてゐる事によつて察哈爾の後釜を狙はんとする同派の龐炳勳あるに於てをやである、而して結束のゆるんだ山西軍は既に問題にならないのであるから問題の中心はなんと言つても舊東北軍と言ふことになつて來る

×

舊東北軍内に新舊二派があつて互に其の勢力の擴張を計り相抗爭してゐる事は東三省時代からの事であるが、首領張學良の外遊と共に益々無節制不統一を極めるに至つた、これは東北軍内に人材の無い證據であつて郭松齡の叛旗以來各將領の謀叛を極度に恐れた張家はなるべく氣概のあるもの向ふ氣の强いものは敬遠し溫順重厚なるものを拔擢する方針を採つたので、軍の士氣漸く衰へ滿洲事變でも日本軍の一擊に一たまりもなく慘敗したのであつた、今日中央からコヅキ廻され内心不平を抱き乍ら尚且反抗の一矢を放ち得ないのもこれが爲である 東北軍新派の中心人物は榮臻、周入文、胡毓坤其他張作相系の若手將領であり九、一八事變で日本人間に有名な王以哲も系統こそいくらか違ふがやはり新派の重要なる一將領たるを失はない、新派は若手將領間に勢力を有し下級軍官以下の支持と同情とを得てゐる舊派は萬福麟を中心とするもので同系統以外では比較的地位と富とを得てゐる高級將領の支持を受けてゐる、これは横に東北軍を分けて見た見方であるが、新舊兩派は必ずしも截然と對立してゐると言ふにあらずして各將領の系統によつて又縱に張作相、萬福麟、于學忠、王以哲、何柱國、胡毓坤の諸系に分つ事も出來るのであつて大體張作相系は新派々、萬福麟系は舊派を代表するものとみてよい、而して新舊兩派の勢力の分野は新派七、八分舊派二、三分と謂はれてゐるが、其の利害、感情血緣等種々の理由によつて愈よとなると不統分裂甚だしく不明瞭であり、其の集合離散全く混沌たるものがある、これが其の頭首がない事と共に東北軍の大なる惱みとなつてゐるのである、東北軍新派の主義は親日反蒋であり、其の頭首のない惱みは閻錫山、吳佩孚、宣統帝推戴といふ窮狀にまで墮してゐる、

×

これに反し舊派の主張は必ずしも反日ではないが、どちらかと言へば親蒋親中央であり依然張學良を頭首に迎へることに一致してゐる、別派として于學忠派があるが、于は元吳佩孚麾下の宿將であり東北將領中の外樣格であるが、今や河北省主席として着々その勢力を扶植し隱然たる一敵國を形成してゐる、彼の背後には新直隸系の政客張志潭、孫潤宇等の智者があり出來得べくば東北、西北の諸軍を華北より一掃し新たに華北人の華北たらしめんとする野心を抱藏するとさはれてゐる、張學良の歸國問題に對しても于が眞先に反對の意向を表示したのも理由のある事で扶植した勢力も學良の歸國によつて根底から覆されゝ虞れがあるのである

農材負擔調査會諸委員會設置

【東京國通】農村負擔調査會の初總會は十二日午後四時散會したが、會長指名の諸委員會を設置に決定、右委員會は來週早々開會の筈である

學士院受賞者
新井田氏決定

【東京國通】帝國學士院では十二日九年度學士院恩賜賞受賞者の詮衡を行つた結果東方文化學院東京研究所法制史部助手新井田陞氏が受賞者と決定した、同氏の研究は唐代法律の一大集成たる唐令で本元の支那に於ても未だ之が纏まつた研究無く、難事業であつたところ新井田氏に依り略々完成するに至つたもので、支那法制史研究に寄與するところ大であると觀られてゐる、新井田氏は法學博士仁井田益太郎氏の甥で昭和三年東大卒業の少壯學者である

新京農安間自動車
二月から連絡

滿洲國では交通補助機關として自動車の運行を以て地方產業の開發民衆の便宜に資してゐるが、今回新京、農安間にも自動車營業を始すべく過般鐵路總局と協議中であつたが愈よ二月一日より總局の手で新京、農安間の自動車連絡を開始する運びになつた、尚新京、農安間の運行開始後は更に同樣總局の手で農安、扶餘間の運行を開始する筈である、時間、運賃等は左の如くである

一、發着時間　新京發午前九時、農安着正午、農安發午後一時、新京着午後四時
一、旅客運賃　大人國幣三圓四十五錢、小人十二歳未滿は半額
一、手荷物　大人一人につき十キロまでを無賃、小人はその半量、郵便、新聞の運搬もなす

なほ當分の間は豫備車一、旅客車二、貨物車二の編成を以て運行をなすものである

駐滿大使館の擴充近く成る
守屋氏も近く就任

【東京國通】別項の如く駐滿大使館は近く大增員を見、在外公館中最も多數の人員を擁することになつたが今回の增員は駐滿大使館の一般事務が最近益々多忙を加へるに至つたためと、一つは同大使館警務課の充實を圖る必要からである、尚一等書記官は現任の吉澤清次郎氏の外在福州守屋總領事が任命される筈である

貿易會館に反對意見濃厚
來る會議所議員會

新京商工會議所では來る十六日午後五時より同所會議室に於て議員會を開催日滿實業協會滿洲支部理事會の經過報告後日滿經濟所組織の中商業部、工業部等の部會設置などにつき協議引いて豫算百萬圓の日滿貿易會館設立に關して協議を行ふが日滿貿易會館は商品陳列所と商工會議所の機能を合せるものにして日滿貿易會館が設立さるれば商工會議所の存在意義なく、一部有識者間には貿易會館設立にそれだけの巨費を投ずるよりも商工會議所の機構を擴大し充分仕事をなさしむべしと唱へ當日は相當反對意見が出るものと觀られてゐる

滿鐵改組と陸軍の答辯方針
出先案を固執せず

【東京國通】滿鐵改組問題は議會で必ず質問ありとみ、陸軍では左の方針で答辯する用意をした

滿鐵改組の必要なるは事變前より認められて居り、事變發生後促進された、之がため昨春以來出先當局で立案したが、昨年末終了して中央に還され、目下陸軍で決定案の作成中だが事重大なるもの故愼重を期し、未だ具体的になつてはゐないと傳へられる現地案は實際案と違ひ、陸軍では出先案を固執せず日滿兩國會社株主の利益增大の案を確立せんとするものである

產金買上價格

財政部では產金買上法に基き向ふ一週間の產金買上價格を左の通り決定、公表した
一匁分に對し　二圓九角

人事往來

◆平林三治氏（珠河縣公署參事官）十六日から開かれる吉林省參事官會議に出席のため十三日來京

天氣と氣溫

けふの天氣は西の風晴、氣溫は最高零下十六度五分、最低零下廿五度四分

戸外デーは皆さん一緒に

スケート祭や寶探し
二十一日西公園で大仕掛で行ふ

籠カロカレ二百メートル三回▲兒童競走二百メートル三回▲パン喰競走二百メートル四回▲兒童競走二百メートル三回▲玉押競走二百メートル六回▲氷上ボートレース二百メートル團体一回▲兒童競走二百メートル三回▲ドリーブル競走團体一回▲スプーンレース

二百メートル五回▲フキギヤー模範スケーチング一回▲橇引競走二百メートル二回▲提燈競走二百メートル三回▲四百メートル競走二回▲役員リレー一回▲選手五百メートル競走二回▲同千六百メートルリレー一回▲同千五百メートル競走一回▲番外タイム競爭一回

戸外デーの催し物打合せは既報の通り十三日午後一時半から二時半まで地方事務所で開かれたが出席者は新京体育聯盟スケート部役員、滿鐵運動會スケート部役員、各學校代表者で決定事項は次の如し

一、期日一月二十一日
一、場所西公園スケートリンク
一、行事
イ、スケート祭
ロ、寶探し

スケート祭

一、午前十時から一般市民並びに各學校生徒兒童がスケート靴を着用して全員リンクの中央部に集合して小旗（地方事務所に用意してゐる）を持つて開會を宣す
二、商業學校のバンドによつて全員新作歌「我等の冬」戸外デー歌を合唱
三、合唱後地方事務所長から一場の挨拶
四、スケート競技（約三時間）
五、中食

寶探し

一、スケート競技中適當な時間に行ふ
二、リンク周圍の見物席へ寶をかくしおく
三、參加者全員小旗を持つ事

競技プログラム

健康第一、戸外デースケート祭競技プログラム
兒童競走百メートル二回▲

滿日語學講習
來る廿日より文教部主催で
一般にも受講許可

文教部では滿洲國官吏の日語向上に資するため語學講習會を一昨年來施行し來つたが結果が非常に良好で受講希望者が豫想外に多數なのに鑑み來る二十日から室町小學校および新京公學校に第四回滿日語學講習會を開催することゝなつた、尚同講習には官公署職員以外の一般からも學力詮衡の上特に入學を許可する方針である、受講に關する詳細は左の如くであるが希望者は至急文教部社會教育科宛申込まれ度い

一、場所
滿洲語科　室町小學校
日本語科　新京公學校

一、募集人員
滿洲語科
第一部　二組　八〇名
第二部　一組　四〇名
第三部　一組　四〇名
第四部　一組　四〇名
計　五組　二〇〇名
日本語科
第一部　三組　一二〇名
第二部　二組　八〇名
第三部　一組　四〇名
第四部　一組　四〇名
計　七組　二八〇名
總計　一二組　四八〇名

一、始業式　大同三年一月廿日（星期六）午後六時

一、教科課程
學科　學級　滿洲語科
第一部　發音、會話、急就篇
第二部　會話、新體華語、楷梯
第三部　滿文日譯、作文
第四部　公牘、時文尺牘
日本語科
第一部　發音、會話、新撰日本語、讀本正編
第二部　會話、同上續編
第三部　日文滿譯、作文
第四部　公用文、時事文

一、修業期間　六ケ月（一月より六月迄）
一、休業　日曜、祭日、祝日
一、入學者資格　滿洲國官公署職員および本所に於て學力詮衡の上特に入學を許可したる者
一、修了證書、本所々定の學科課程を修了したるときは修了證書を交附す

朝鮮人住宅地
貸下を取上げ
爾後は個人の資格で

新京朝鮮人住宅組合は有志金東晩、崔英在氏の發起で昨年四月組織され其間國都建設局に對し卒地貸下方の交渉をなした結果、南嶺和順郷に住宅地一萬坪の貸下を受け之を貸下申込者百三名にそれぞれ分配（一人當八十坪）し、家屋建築を促してゐたが、これ等朝鮮人は何れも貧困者で、規定期間内に建築を全部なし得ず、僅か四十戸の建設を見たのみで爾他同樣放任されてゐるので、國都建設局では右住宅組合に對し都市建設企畫上支障を來すので建築能力なき者は土地を返還すべしと通告した、右に就き同組合は對策協議の結果一旦之を國都建設局に返還し、爾後建築を希望する者は個人の資格で建設局に交渉し再度の貸下を受くべしと決定した

奉天驛の改札制
一日から無料で

（大連國通）奉天驛の改札制實施に伴ふ入場者を有料とするか、無料とすべきかに就ては双方に異論が有つたが結局二月一日より無料制を實行することに決定した、併し右は暫定的のもので、滿鐵全線停車場に改札制實施の曉は改めて有料、無料の本格的決定をみることになつてゐる

不正行爲で馘首はしない
大經路署整理經緯
警察廳井上警佐は語る

既報、大經路警察署松井署長以下十余名の馘首整理に關し首都警察廳井上警佐は十三日本社を訪問左の如く陳辯した
整理したのは別に醜状が暴露したから馘首したといふ譯ではない中には面白くないものもあつたかも知れぬが整理の眼目は首都の警察として圓滿に且つ警察事務を完全にやつてゆくため一は經費の關係、日滿人のつり合ひ上どうしてもこの程度の整理が必要となつたので斷行した次第で重ねていふが不正行爲があつたから馘首したといふのが本体ではない

非常警戒に
これは偶然の大捕もの
拳銃强盗一味檢擧

首都警察廳では重大犯罪發生の場合直に全市を包圍して犯人を脱出せしめざるためこの程周圍警戒線なるものを定め被害の屆出あつた場合は直に各署に要點のみを通報して

『首都』新京を完全に包圍すべく郊外との境界線の要所に警士を四五名宛張込ましめ刑事隊その他の餘力を以て内部の檢索を勵行することとし十二日午後五時より之を實施したるところ偶然にも本廳の島貫巡官の一隊が南嶺大街南嶺河東大橋東方を偵察中、畑中に四名の擧動不審者を認め之を追跡逮捕、司法科に連行し嚴重取調べた結果作年十二月二十二日午後六時ごろ東安屯關子南沿門牌二三號牛豆芽製造業陳有森方に侵入し拳銃及棍棒を以て

『被害』者方の雇人陳友及孫陳氏の頭部及胸部その他數ケ所に重傷を負はせて金櫃を破毀し現大洋百二十元を强取したことを自白したので時を移さず犯人の家を捜索したところ犯罪當時使用した拳銃二挺を發見、こゝに犯罪の證據明白となり完全に事件を檢擧することを得た、犯人の住所氏名左の如し

南嶺管内二道河子四道街三馬路
無職　王孝得（三一）
無職　王金山（二二）
住所新京大馬路老物華金店
王萬山（四四）
新京後太平街門牌四號
若力　韓龍池（二七）

これなら大丈夫だ
今江警正談

右に就き司法科今江警正は語る「從、犯罪發生の場合その都度非常警戒をやるが被害者の屆出方が遲いのと警戒の配置に手間取るため長蛇を逸する場合が多い、之に鑑み被害の屆出があればすぐ各署へ强盜なら强盜があつたと云ふことだけを通報すると時を移さず所定の場所に當直の警士が張込むことにした、そして先づ犯人の脱出を防ぎそれから詳しい事は傳令に依つて次ぎ次ぎに通報することにした此方法なれば三十分あれば完全に全市を包圍することが出來るから被害者の屆出さへ早やければ決して事件を迷宮に入らしめる樣な不体裁なことはない自信があるが之では未だ物足らない將來は本廳司法科に非常報知器を設置し之から各分駐所や民衆に連絡し電氣の力に依り本當に電光石火的の通報機關と滿人警士の訓練を充分にして市民諸君が戸締をせなくても高枕安臥の出來る樣にしたいものだ」

巡査部長
試驗合格者

昨年十二月施行された關東廳巡査部長試驗に新京署から左の四名が合格した
林知成氏（警務係）
池上榮一氏（領事館署）
吉田松夫氏（外勤）
池水喜一氏（司法刑事）

建築其他の都會美確保に
國都建設局が力瘤

國都建設局に於ては、建築、水道、給水、下水道施設の指示條項を定め一般建築の出願審査及監督を行ひ建築の指導助成に努めて來たが、今回更に一歩を進めて
一、設計上の注意事項
二、設計技術者の調査
三、工事請負人の調査
四、工事上困難を生じたる場合の處置
五、其他建築に關する事項の事業を行ひ、特種事情にある滿洲建築の注意指導、國都建設の都會美確保について努力することゝなつた

新京、洮南方面に
水源地調査團
滿鐵から派遣決定

〔大連國通〕滿鐵建設局水道調査所では安田所長の擔任と共に着々仕事を進めてゐるが先づ其の第一回水源地調査團を來る十五日新京、洮南方面に派遣することゝなつた、一行は地質調査係として三澤、山本兩氏、水道方面の技術調査係として小林、田邊兩氏が出張することになつてゐる

北野大尉
賑かに赴任

飛行第〇〇隊材料廠庶務課長北野大尉は下志津飛行學校へ榮轉十三日午後四時卅分發列車で赴任したが、驛頭には飛行隊兵士多數見送りに出で軍歌でもつて同大尉を送つたが列車發車を前後して入營兵士見送りと北野大尉見送の萬歳

遼河結氷
々々の歡呼の聲は鳴り渡つた

暖氣のため遼河の結氷はおくれてゐたが去る十一日夜來の寒氣嚴しく、ために十二日朝全く氷結して河北への徒歩連絡が可能となつた、今年の結氷は昨年より一日おくれたと

新京理髮業組合
總會と新年會

新京の日本人側理髮業者は十七軒從事員八十余名あるが舊臘の總會で左の役員が當選就任した、同總會では來る十七日午後四時から市内梅ケ枝町のすし竹本店で本年度總會兼新年宴會を催すさうである、因に將來は結髮者及び美容師等にも加入を求め會員の向上親睦等に努めることゝなつてゐる

組合長　淺沼伊之助
副組合長　土井明治郎
會計　福永　正司
評議員　從事者顧問　青木若太郎
評議員　阿比留　稔
同　松本康次郎
同　三谷　倉太
顧問　同　得丸助太郎
同　梅本　善吉

全滿かるた大會

日時　二月十一日午後一時より
場所　未定（決定次第追つて發表）
會費　一人當五十錢、當日持參のこと（但し簡單な夕食を差上げます）
申込　二月五日までに鐵道事務所經理熊代氏（電話代表三七一一社内二五二）へ

一、使用カルタは標準カルタ
二、規約は甲、乙、丙に分ち全日本カルタ大會規約による
三、優勝者には優勝カップ　甲、乙、丙各組五等まで賞品を授與

主催　新京日日新聞社
後援　新京地方事務所社會係

拉賓線の旅客運賃

拉賓線の旅客運賃は新站を起點として各主要驛まで次の如くである
小城二等二圓十、三等一圓四十錢△永曲柳二等四圓三等二圓七十錢△山河屯二等五圓二十錢、三等三圓五十錢△五常二等六圓五十錢三等四圓四十錢△拉林二等八圓四十錢、三等五圓六十錢△周家二等九圓九十錢、三等六圓六十錢△三棵樹二等十一圓七十錢、三等七圓八十錢△濱江二等十二圓、三等八圓

西本願寺
法要
晝夜、十六日まで

新京西本願寺では本月十六日は祖師聖人御遷化の命日に當るので十三日の晝席から法要をいとなんでゐるが期間は十六日まで、晝席は午後一時から夜は七時から講演並に説教で主題は祖師聖人の御生涯祖師聖人の信仰と現代祖師聖人の孝養、慈善、教育論であると

藤影幼稚園
新學期に入る

市内西本願寺附屬藤影幼稚園では十五日午前九時から三學期　授業を開始する

中川君の入營

中央銀行員中川鍵治郎君（兵庫縣）は二十日第十師團管下篠山歩兵第七十聯隊に入營のため十三日午後四時三十分發列車で内地へ向け出發した

依然鳴動
口永良部島

（鹿兒島國通）十一日午後四時大爆發をした鹿兒島縣下口永良部島の新嶽は依然として鳴動をつゞけ十二日未明海上三哩を隔てたる熊毛郡屋久島の長田燈臺附近は降灰と同時に拳大の熔岩が雨の如く落下し、附近海上は一面に熔岩に閉され船舶の航行は全く絶たれて居り、從つて近寄る事は不可能なる狀態で、現に口永良部島の調査に赴いた京都帝大教授、本間博士、九州帝大教授松本博士一行の安否も氣遣はれてゐる

新京中央電話局の巻（三）
踊りの―ナンバーワン
交換課　吉田平太郎氏

踊るといつても鐵節くらひなものですよ別に師匠について習つた譯ではなく好きなものですから宴會の席で藝者をつかまへて習つた程度のものです
好きこそもの上手なれで吉田氏の踊りはかなり堂に入つだものらしい、一見して身体のこなし振りのよさが伺はれる
男の踊りと云へば日本人では一寸變な感じがしますが日本の踊りも西洋のダンスも別にかわりはないのですからね……ジャズにうかれ男女相抱いて踊むステツプも悪くはありませんが三味や太鼓にあわせて踊る日本の踊りも捨てたものではありませんよ、醉へば踊るといひますが醉つて踊るのは罪がなくてよい方でせうね、酒も相當なものです、然し自分の量はよく判つておりますので程度以上の深酒は飲みません、踊るくらひは酒の力をかりずとも素面でやりますよ、浮かましいものでせう……少し飲んだところで踊りますとさても酒がよくまわつて一合の酒は二合の効果をあらしますから一面經濟的にもなるといふものでせう、何にでも同じですが素人があまり醉にころことは考へものです、ほんとの面白味はアマチユアーのときにあるのですから

四平街

戸外デーにスケート大會

來る二十一日全滿各地に實施される戸外デー當日當地ではスケート大會並に兎狩を擧行する豫定である

匪賊嚴重警戒

四平街署では近來頻々として附屬地外に起る匪賊强盗の出沒に對し附屬地内に嚴重なる警戒網を張りつゝある

治安維持懇談會

來る十三日午前九時から大同電氣株式會社樓上に於て伊通、懷德、双山、梨樹、遼源、開原、昌圖、法庫、西豐、鐵嶺、康平十一縣の治安維持懇談會が開催されるが當日の主なる出席豫定者は軍隊側縣治安維持會委員長外關係者數名並に奉天省警備司令、警務廳長、特務科長、財政科長、各縣長縣參事官、警務局長、警務指導官等である

居住消息

▲野崎岩次郎氏（佐賀縣）吉野町二丁目七番地へ
▲宮島恒造氏（群馬縣）老松町二丁目三番地天野方へ
▲中川榮氏（佐賀縣）西三條通り敷島寮へ
▲井關靜氏（熊本縣）日本橋通り七十八番地へ
▲奥城一良氏（福井縣）祝町五丁目十二番地へ
▲佐藤武夫氏（岩手縣）大連から日本橋通り八十番地へ

轉居

▲白石義春氏（福岡縣）奉天から日本橋通り六十番地へ
▲多田一之助氏露月町二丁目三十七號ノ四から哈市埠頭區外國八道街へ
▲豊田留吉氏羽衣町一丁目百十二號から花園町二丁目四十四號へ
▲和泉孫三次氏入船町四丁目九番地から東三條通り三十八番地へ
▲熊代八郎氏錦町二丁目九番地から常盤町十二番地ノ二へ

吉凶禍福

▲露月町三丁目三十號ノ一吉村四郎氏長女繁子さん九日出生
▲常盤町三丁目滿鐵社宅十三號早野□藏氏長男賢明さん八日□

春は杏花咲く

平和郷を唄ふ　范家屯の歌

警察署歌と共に

高橋署長さんの傑作

首都新京に程遠からぬ大豆の都范家屯は人も知る、春は杏花咲き亂れ夏は涼しき水が湧き秋は高粱の黄金の波が廣漠たる蒙古に續き實になごやかな平和郷であるが、滿洲國の建國とゝもに范家屯警察署が設置され、高橋署長就任いらい署員の志氣を鼓舞し且つ一糸亂れぬ統制振を見せてゐる同署員は益々署員の志氣を鼓舞する一方平和郷范家屯を全滿洲に知らしめたいと此のほど左の如き警察歌並に范家屯の歌をものした

范家屯の歌

高濱作

（一）春は花咲く范家屯　杏樹の下に酒酌めば　ヒラ〳〵蝶も舞ひ來る　平和の郷を君知るや

（二）夏は涼しき范家屯　楊樹の下に滾々と　盡きせぬ水の湧く所　八ヶ泉眼君知るや

（三）秋は眺めの范家屯　平頂山より見渡せば　蒙古に續々高粱の　黄金の波を君知るや

（四）冬はリンクの范家屯　神社の庭に集ひ來る　老も若きも共々に　スケートの快君知るや

（五）滿蒙五族の平和郷　王道立國成りてより　首都新京の郊外地　四季の眺めは范家屯

范家屯警察署の歌

（討匪行の曲符にて）

（一）王道樂土の大滿洲　首都新京に程近き　大豆の山の范家屯

（二）滿洲國の成りし年　生れ出たる警察署　年經る毎に榮へ行く

（三）署員の數は少きも　一大家族のそれのごと　署長の下に結束す

（四）強く正しく明るくて　いと朗らかに勤務する　我署のモットー君知るや

（五）炎熱灼くが如き日も　馬に跨り高粱を　押し分け進む討匪行

（六）心血凍る冬の夜も　銃劍闇にヒラメかし　警哨勤務怠らず

（七）思へば重し我が務め　治安の任に當る身は　國家に捧げしこの命

（八）職に斃るゝことあるも　豫ねての覺悟悔ゆるなし　警察精神君知るや

海の外から

□大機關車の無軌道通過　米國フキラデルフキヤ州では偉人フランクリンを永久に記念する爲めフ市驛からフランクリン博物館に至る道路の補裝工事を完行したが全米を通じて嘗て見たことのない六萬馬力の道路整調機關車が五市街を無軌道で通過、流石の米國人も今更の如く驚いた

□珍らしい木洞喫茶店　沙市に近いワシントン州に此の程二千五百年前の古木を發見、木材にすることは惜しいとあつて三百呎の長さに切斷内部をくり拔いて、喫茶店を設計することになり目下着工してゐるが電燈、ドアー其の他什器を取揃え五十名の客を優に收容出來ると云ふ珍物

□新威力のパース飛行艇　英國の新造飛行艇パース號にはロールス、ロイス、バザー八二五馬力發動機三台を裝備性能は嚴秘に附されてゐるが艇首に備へたヴイカース、アームストロング速射砲の裝彈包は二、五封度、實彈一、五封度、速射は一分間に百發といふ新威力であり、空の巡洋艦と素晴しい折紙を附されてゐる

□太古史前の動物畫を發見　舊冬獨乙考古學界の權威、レオ、フロベニウス博士が第十回アフリカ探險をやつた際トリポリの南方フエザンヌに於て紀元前一萬二千年乃至一萬三千年の先住民族が描いたと推定される動物の炭壁畫を發見史前學研究に新資料を與へた

時計と裝身具　森洋行　輸入組合加盟店　新京中央通八四　TEL 3873

ラヂオ版

十四日（日曜日）新京
午前十一時五〇分　講演
（全國並日本全國中繼）
一九三六年の危機に處して　駐滿海軍部　海軍中佐　白石萬隆
同　五時〇分　子供の時間　お話　新京室町小學校
同　五時三〇分　演藝（鮮語）
同　五時五〇分　ニユース（同）
同　六時〇分　ニユース（東京より）
同　六時二〇分　日曜講座　滿洲の歷史　第一講　新京高等女學校　森下直記
同　七時〇分　演藝（鮮語）
同　七時三〇分　講演（鮮語）　大觀樓　美鈴
同　八時〇分　ニユース　氣象豫報、プログラム豫告（滿語）
同　八時三〇分　時報　ニユース（東京より）
同　八時四五分　時事解說（鮮語）　在滿朝鮮人の將來に就て　新京居留民會理事長　金龍班
同　九時〇分　演藝（奉天より）　小唄と端唄　滿洲美會連中　引續翌日のプログラム豫告

ラヂオの御用は　東京無線　電四九二〇番へ

新京キネマ　電話二〇六八番

十三日更りプロ
新京キネマ後援會　一月第一回映畫觀賞會は來る十四日夜間!!!

日活映畫　加藤武雄原作　熊谷久茂監督

炬火

夏川靜江　市川春代　大原雅子　山本喜一　中山弘二　一木禮二　共演

美はしい大自然に包まれた山村を背景に從兄妹同志でありながら富豪の娘と小作人の倅との淡くもはかない悲戀ものがたり加藤武雄の心血を注いだもの―監督は新鋭熊谷久茂―冬の夜しみ〴〵さみて涙するにふさはしい映畫です公開の日を御期待下さい

片岡千惠藏主演映畫

二日月笹穗切り

稻垣浩監督　石本秀雄撮影
毛利峰子　瀨川路三郎　津村博　竹潤文子
千惠プロ全員總出演

日本一の美男で、日本一の槍の名人で―美男笹野權三郎を潤ずるに千惠藏程の適役はありますまい片岡、稻垣、石本のトリオは絕對に信頼される

武藝の嗜み　（上）

五柳柳泊　主扮　挿繪

エー明けましてお目出度いお正月、幾歳に成りましても惡くないものでげすが、此のお正月外ものが流行出しましたナ、昨年邊りは例のヨー〳〵てのが大分巾を利かせました。

「ヤー明けましてお目出度いヨー」

なんて、少し間が拔けて居ります。そこへ行きますると、お正月儀式としては昔ながらの凧揚げ追羽子、お孃さん方は羽子板の繪を競べあつて自慢をし合ひます。その繪もスポーツから歌劇女優、映畫俳優と流行がありますが、矢張り歌舞伎の似顏繪が依然として押ねて居ります。

「ワア美いちやん、あなたの菊五郎ね、あたしの延若よ」

といつた工合。

「ね、羽根を突きせうよ」

「ね、落すと墨ですよ」

「あら隨分だわ」

なんてお色氣があります。しかし此の追羽子も當年取つて七十八歳のお婆さんがやると不可なくなります。

「サアお婆さん、羽子を突きませう」

「あい、だが私は眼が霞んで羽根の落ちて來るのが見えないんだよ」

「それぢや眼鏡をお掛けなさい……掛けたかいサア落すと墨だよ」

「あら隨分だね、南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛、ホイ入齒が外れた」

これぢや色氣がございません。ところで色氣は無いが威勢のいいのは職人衆の羽子突きです。

「ヤイ鐵、羽子を突かうぜ」

「羽子板が無え」

「擂板でも剝がせ」

「サアいゝか」

「よしッ、さア持つて來い」

まるで喧嘩だか羽根を突くのだか判らない、しかし如何にも春らしうございます。ワイ〳〵遣つてる所へ通りかゝつたのが熊五郎さんです。

「オイ熊公、手前も羽根を突かねえか」

「痴け者メ。天下武家の非常時に際し、女子供のする羽子突き……ブツ、怪しからぬ。身共は左樣の遊びは至さぬのだ、ズンと變つた事を遣る、驚くな」

「オヤ〳〵、變な事を言やがるぜ、手前何處へ行くんだ」

「チト手前、志す事あつて、是より道場へ參る、其の方共に言葉を交すと人間が女々しくなつて不可ない、默り居らう」

「ホー」

呆れてゐる友達を尻眼に掛け、熊五郎さんが這ッて行つた横町の道場。

「エー先生、明けましてお目出度う存じます」

「イヤ是は何誰かと存じたら熊五郎殿か、イヤお目出度う、舊冬中はいろ〳〵とお世話に相成つた本年も相變らず」

「イヤ所が變つて貰ひ度いので御相談に出ましたが」

「ホー改まつて何事でござるな」

「外でもございませんが、此の劍術といふ奴、あれをスピード式に腕つ節の上達するやうにし度いので、ヘイ手ッ取り早く言へば、今年はウンと變つて自分乍ら吃驚するやうな腕前になりてえんで」

「成る程」

「それについて、武者修業なんかどうでせう、何でも他流試合をせぬと駄目だと云ひますが」

「左樣、武者修業は大きに力になる、が此處をよく考へんければ不可ぬ。一體外國の拳鬪でも日本の角力でも柔道でも、いづれも力と術の競べッこで、體育上すべて宜しい、分けても日本の武藝の表藝は劍柔弓馬といつて、恐らく武士で劍術、柔術を稽古せぬものはなかつた。武士許りでない、熊さんのやうに志のあるものは町人職人、農家の分ちなく皆習つた。尤も旅などすると胡麻の蠅、山賊などに出會はす、その時身を守る爲めにたしなむのだが、中には面白半分に習はれるのがある……横丁に道場が出來た、腹ごなしに稽古に行かうか……劍術の稽古と胃藥と間違へてゐる、之などは困る熊五郎殿にはそんな心配は無いが所謂いふのは直ぐ天狗になる、生兵法は大疵の基と云つて却つて間違ひを起す」

●商業登記

●新京取引所信託株式會社變更
一、取締役上田賢象ハ昭和八年十一月二十九日其住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
新京羽衣町三丁目二十六番地

●商號ノ新設
一、商號　富貴洋行
一、營業ノ種類　食料雜貨貿易商
一、營業所　新京日本橋通六十四番地
一、商號使用者ノ氏名住所　新京日本橋通齋藤八一
●支配人選任
一、支配人ノ氏名住所　新京老松町四番地　建部永吉
一、主人ノ氏名住所　株式會社丁字屋商店　京城南大門

一、通二丁目百二十三番地
一、支配人ヲ置キタル場所　滿洲國新京老松町四番地
右昭和八年十二月四日登記
●東洋拓殖株式會社社債變更（支店）
一、第六十一回社債總額ノ内一部償還ニ依リ昭和八年十一月二十日其社債總額ヲ左ノ如ク變更ス
第六十一回社債總額金七十三萬五千圓第四十回社債總額ノ內一部償還ニ依リ昭和八年十一月二十日其社債總額ヲ左ノ如ク變更ス
第四十回社債總額金五千九百圓
●台資會社滿洲公司變更
一、昭和八年八月二十一日店ヲ左ノ所ニ移轉ス
新京富士町二丁目十一番地
右昭和八年十二月五日登記
●公主嶺精米株式會社變更
一、昭和八年十一月二十九日左記ノ者監査役ニ重任ス
原田武夫　公主嶺花園町二號地
李國華　懷德縣劉房子
右昭和八年十二月六日登記
●南滿洲瓦斯株式會社變更（支店）
一、取締役弟子丸相造ハ昭和八年十一月三十日辭任シ同日左記ノ者取締役ニ就任ス
前田寬吾　大連市伏見町十一番地
同日左記ノ者監査役ニ就任ス
査役堀義雄ハ前同日辭任ス
前同日左記ノ者監査役ニ重任ス
富田租　大連市伏見町十一番地ノ三ノ一
岡村金嚴　大連市吹町二十番地
●新京建築助成株式會社變更
一、監査役辰村米吉ハ昭和八年十二月一日其住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
新京老松町十一番地
右昭和八年十二月七日登記
●大同電氣株式會社變更
一、監査役須藤清ハ昭和九年十一月三十日辭任シ同日左記ノ者監査役ニ就任ス
長谷川收　大連鳴鶴臺百十九番地
●合名會社設立
一、商號　合名會社林洋行
一、本店　新京日本橋通二十番地
一、支店　四平街仁壽街十番地
一、目的　紙文具洋品雜貨販賣及之ニ附帶スル一切ノ業務
一、設立年月日　昭和八年十二月十日
一、代表社員ノ氏名　林金次
一、社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
金四萬圓　林金次　新京日本橋通二十番地
金一萬圓　林トヨ子　同
金四千圓　林豐　同
金二千圓　林滿子　同
金二千圓　林昱子　同
金二千圓　林昭子　同
一、存立ノ時期定款作成ノ日ヨリ滿十五年
●合名會社設立
一、商號　合名會社土建金物商會
一、本店　新京梅ケ枝町二丁目二番地
一、目的　土木建築金物類及諸材料賣買並ニ之ニ附帶スル諸工事請負
一、設立年月日　昭和八年十二月五日
一、代表社員ノ氏名　石井今一郎
一、社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
金一萬圓　石井今一郎　新京梅ケ枝町二丁目二番地
金一萬圓　山村儀一　大連市榮町二番地
一、存立時期定款作成ノ日ヨリ滿十五年
●橫濱正金銀行變更（支店）
一、取締役水津彌吉ハ昭和八年十一月二十九日其住所ヲ左ノ地ニ移轉ス
東京市赤坂區青山南町六丁目七十二番地一號
●日滿實業株式會社變更
一、取締役中村利勝ハ昭和八年十一月三十日辭任ス
右昭和八年十二月十一日登記
在新京日本帝國總領事館

新築移轉
業務擴張
診療科目　內科　小兒科　外科　產婦人科　花柳病科　肛門病科
入院隨意
國都醫院
新京永樂町三丁目　領事館京都旅館隣
電話四六〇六番
×見習看護婦入用×

內科　小兒科　產科　外科　花柳病科
入院隨意　診（晝夜何時たりとも往診致します）
福島醫院
室町二丁目十三番學堂前
院主　福島一郎
產婆　大野にほ子

機械工具　煖房材料　水道用品　衛生陶器　油脂塗料
新京日本橋通六〇
東華洋行
電話三二五七番

愛せよ地場銀行　強く育てよ
新京銀行
三笠町三丁目
電話二九〇三・四四三番

移店廣告
美術諸看板　銅鑛鍮看板　ペンキ水性塗
日の丸看板店
新京朝日通但し赤十字社前
電話四七二三番

齒科　口腔科
早川醫院
錦町二丁目　電話三二九六番
診療時間　自午前九時至午後五時　日曜祭日　午後休診

品質本位
新京中央通
電話三八〇五番

ラヂオ　コスメエ受信機
新嶄を誇る豪華の四型三九一
ラヂオ兼用　電氣蓄音器
スーパーヘテロダイン式受信機
開店記念一大サービス
△一賦で市價より安い店
△修理改裝の御用命は是非!!
三球受信機　二七□圓
五球スーパー　一二〇圓
六球スーパー　一五〇圓
七球スーパー　一七〇圓
八球電氣蓄音機　一三〇圓
八球電氣蓄音機　二六〇圓
破格の値段
ラヂオは常に家庭を明るく!! 非常時のニュースに！ 樂しい一家團欒の夕に！
東京無線新京支店
新京祝町二丁目（新京キネマ前）
電話四九二〇番
▶本店奉天青葉町◀

海陸運輸　建築材料運搬　引越荷物
井
井本運送店支店
新京祝町二丁目　電話三八四三番
本店　奉天宮島町　電話二七八一番

國民歌
非常時日本の歌
東京音樂學校內日本教育音樂協會選
獨唱　伊藤武雄
齊唱　東京音樂學校男女生徒
國難來れり　絕唱せよ　この愛國歌を
（レコード番號A一一二四）　特價金一圓
コロムビアレコード
Columbia

日本の聖女（上演上映）

生田葵　作
南部龍平　畫

三三　火事場の異變（三）

「昨夜あの出火の少し以前に、この町内を怪しい風體の男が徘徊してゐたのを見受け、後をつけようとおもつてゐる中に見へなくなつてしまつたと火番が申出てまゐりましてございます」

「さうか」

廉之進はうなずいたが、その目を群集の中へとひたと注いだまゝ動かさうとはしなかつた。

それで岸田もその容子にひかれて、廉之進が目を注いでゐるその方へと瞳を向けたが、

「あつ」

と小聲に叫んだ。

「見たか、あの侍がゐる。」

廉之進はつぶやいた。

二人は目と目でうなずき合つた。

二人の瞳の注いでゐる所に敷之丞が立つてゐた。」

敷之丞は昨夜の中に、入院の孤兒院を、非人信徒の手をかりて、マリヤの殿堂である洞窟の中へと移してしまつてから、一ね入りするとすぐ、朝飯もそこ〳〵お高の手から血痕となつた浪人の人形を受取り、お高に頼まれて、之から新倉通りの與川に伴む廉川に、手渡しにゆく道すがらであつた。

與力廉之進や同心の岸田守備の方では、敷之丞を注意人物として既に見知つてゐるにかかはらず敷之丞は迂闊にもそんな役人の目に止まつてる自分であることを少しも感じて居なかつた。

敷之丞は火事場跡をみまはして其處に一味の蔦屋吉兵衛が陰鬱らしく働いてゐるのを見ると、妙にくすぐつたいやうなおもひがし、ヂラと目を見合しはした限り、素知らぬ風を装ひ、ちよつと立止まつてみて居た足を人渉の動くがまゝに再び動かしはじめた。

「あの浪人、もう一年ほども姿を、みせないので、何處かの國へかへつてしまつたものと思つてゐたのにまた戻つて來居つた。」

「何處の浪士であるともわからないのに、彼處此處の堂上方や、堂上方の家臣の家へ親しく出入してゐるのが不思議でなりませんでした。

こうしてまたも私達の前に姿を見せるからは、矢張り以前通りにまたも堂上方や、藩邸や醫師の家へ出入りい致すことでございませう」

岸田は廉之進の不審の言葉に聞へてゐた。

「何にしても怪しい奴だ。近くお手入れにはなる浪人共に關係合があるかもしれない。岸田お主此奴は此儘にして、あの男の後を直ぐからつけてもらひたい」

「承知いたしました」

もうそのときは敷之丞の姿は人混りの中にまじつて、火事場跡の前をとほりすぎ、彼方の角を北へと曲りかけてゐた。

「氣づかれぬように大事をとれ……」

廉之進は更に小聲になつて注意した。

さうして、岸田は、火事場跡をはなれて、敷之丞の後をつけて行つた。

吉兵衛は、二人の立話の容子や後姿を見送る二人の目付きで、そこから立去つて行く敷之丞の身上に就いて話合つてゐるんだと、之は廉之進と岸田が何か敷之丞の身は疑い無六感で知りはしたが、その話の内容がなんであるかは、自分の立つてゐるところが、七八間もはなれてたので聞取ることが出來なかつた。

その片言でも捕へやうしてわざ〳〵側へ近よつてゆくと、その時側で人足の一人が燒木杭を引摺りまはして騒々しい物音を立てたので、なんの役にも立たなかつた。